

看護学生のための情報誌

★ きれい ★ ★ 看学生 ★

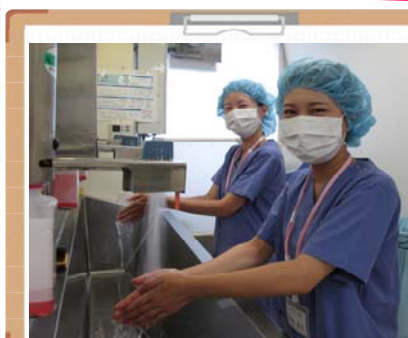


2015年 10.11 月

発行☆兵庫県民主医療機関連合会看護学生委員会
〒650-0047 神戸市中央区港島南町 5 丁目 3-7
Tel : 078-303-7351 Fax : 078-303-7353
E-mail:kangakusei@hyogo-min.com



ナーシングセミナー実施しました



8月から9月にかけて、兵庫民医連の各病院にてナーシングセミナー（看護学生の看護師体験）を実施しました。合計63名の方が参加してくれました。学生の皆さん、お疲れさまでした。

Contents

P2-3 シリーズ：「看護の現場より」
P4-5 ENS 開催レポート
P6 ナースの休日

P7 ほっと Station
P8 奨学生アンケート結果報告

看護の現場より



～オカリナ隊チャルメラーズ
に想いを寄せて～



尼崎医療生協病院
緩和ケア病棟 看護師 平田 悦子



大切にしていること

当病院に緩和ケア病棟ができ、当初から勤務しています。早いもので8年が過ぎました。

私はこの間、いかに患者さまの症状の緩和を図り、その方々の残された時間をご家族も含め、大切に一緒に過ごしたいと思いながら関わってきました。

医療者という立場上、「指導する」「診療の補助をする」という観点も重要なことです。



患者さまの思い

しかし、緩和ケア病棟というところは、患者さまご自身が病気の治療でことごとく心身共に疲れはて、積極的な治療を望まれず、残された時間を大切に、辛い症状から開放されたいと来ておられる方が多く、看護師の人間性を問われるところです。

そのような方々に対して、私に何ができるのだろうか、いまだに自問自答をしています。正直不安に思うことも多いですが、そんな時、訪問看護やケアマネージャーとして働いていた経験や、主人の父を自宅で看取ったことがよみがえってきます。



Kさんとの出会い

癌の終末期に関わったKさん。

「あなたにこの時期に会えて良かった。あなたの目を見てみると私が映っている。あなたの手は、私の痛いところ、痛いところに届く。」

こんな素晴らしい言葉を私に投げかけて旅立たれたKさん。いつも「ことはなるようになる、ランランランよ。」と周りの方々に気丈夫に振る舞っていらっしゃいました。Kさんが「頑張っている？大丈夫よ。」と言って、私の不安な気持ちを奮い立たせてくださいます。

何より主役は患者さま自身であり、どのように過ごしたいのか、何を思い、何を望んでいるのか、寄り添い、いろいろな思い出を共有してきました。



Hさんからのお願い

Hさんとの出会いも強烈でした。痛みがあるのに、薬を使っただけの緩和を望まれず、全身

に蒸しタオルをあてて、マッサージやいろいろな代替療法をしたりして、痛みと向き合っていた経過がありました。

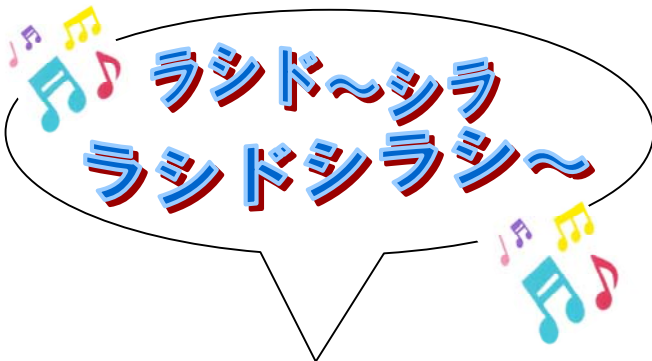
ある時、Hさんがボランティアさんからオカリナを教えてもらっていることを聞き、「一緒にオカリナを吹く練習をしませんか？」とお声をかけて下さり、私も家に眠っていたオカリナを出すことになりました。

音楽が大の苦手な私でしたが、Hさんの病室で仕事を終えてからの練習は、時間を忘れ楽しいものでした。そうこうしていたら医師や同僚の看護師も参加し、オカリナ隊が結成されました。



隊名の由来

Hさんと共に、他の入院患者さま達の前でお披露目をした時に、医師とボランティアさんも加わり、音合わせで『ちゃらら〜らら』とチャルメラの曲で始まったのを機に、オカリナ隊の名前を『チャルメラーズ』に決まりました。



活動

現在のグループメンバーは医師、看護師長、看護師2名の計4名です。年に1回程度、イベントの日に2曲程度演奏させていただいています。



感謝

Hさんは天国に召されましたが、いまだにHさんと一緒に吹いている気がします。

私にオカリナ演奏の楽しさを教えてくれたHさんへ

「少しずつ吹けるようになってきましたよ。さあ、一緒に楽しいひと時を。」と想いを寄せて吹いています。

ありがとう、Hさん。

私はあなたに会えて幸せでしたよ。



緩和ケア病棟の入口です。臨床心理士の大和田さんが、毎月描き変えてくれています。

近畿看護学生ゼミナール Egg Nurse Step→B (略してENS) が
8月10日～11日、神戸フルーツフラワーパークにて開催され、約130名の
看護学生と看護師などが参加しました。



第13回 ENS in 神戸フルーツフラワーパーク

今年で13回目を迎えるENSは、民医連の近畿グループ主催で毎年開催している夏の恒例行事です。学習と交流をメインに実行委員会を立ち上げ、学習テーマについて学習を重ね、交流企画をグループ毎に練り上げて本番に臨みました。開会式では「クイズENSへの道 in フルーツフラワーパーク」で笑いをつかみ？和やかにスタートしました。



学習会 テーマ

ちゃんと学ぼう！憲法
講師：久保田 貢氏（愛知県立大学教育福祉学部准教授）



今年は戦後70年、被爆70年の節目の年です。実行委員会の中で「平和と憲法」は医療従事者を目指す看護学生には、ぜひ学び考えてほしいテーマであり、安全保障関連法案（戦争法案）が可決された今、戦後生まれの私たちに何ができるのか？憲法の基本を知ろう、平和や情勢に興味を持とう！を獲得目標に学習した内容を報告します。

① 憲法の全文を読む

みなさんは憲法を全文読んだことがありますか？その中に5・7・5の条例は？ 5・7・5・7・7の条例は？「絶対」という言葉を使った条例は？そして、あなたの好きな条例を3つ選んでその理由も教えて下さい。久保田先生は会場を駆け回りながら、次々と学生を指名しながら言葉のキャッチボールを繰り返して、正解すると名古屋名物「ういろう」をプレゼント！とても寝ている暇はありません。好きな条例の理由はすべて「平和」につながっていることが見えてきました。

② 憲法の基本を知る

日本国憲法は、国民主権、基本的人権の尊重、恒久平和主義という3本柱を持っており、その中心に「立憲主義」という考え方が存在しています。すべての人々が個人として尊重され、そのために最高法規としての憲法が国家権力を制限し、人々の人権保障を図っているのです。

③ 戦争ができる法案を作っている場合ではない！

東日本大震災後も復興は進んでいません。放っておいても政府は何もしてくれないのです。自分たちで立ち上がるしかないのです！

④ SEALDs（自由と民主主義のための学生緊急行動）の活動

この間のSEALDsの活動DVDを鑑賞しました。「本気で止める！」若者の戦争法案反対の動きが全国に広がっています。



私たちに何ができるのか?についてグループワークしました

① 学んだこと② 共感したこと③ 共感できなかったこと④ これからどうする？

戦争法案は何となく知っているというレベルで「実感がない」というのが本音でしたが、今回の学習で知ることの大切さを痛感しました。まずは、選挙に行こう！この学びを友達に伝えよう！との意見が出ました。



交流会 & 閉会式



夜交流は BBQ (ちょっと量が少なかった(-_-)) でワイワイ食べた後、グループごとに看護学生あるあるを、あいうえお作文で作成。審査員による採点で上位3位までに景品が送られました。

2日目交流は、イントロクイズ、伝絵、ロシアンルーレット、障害物競争と盛りだくさんの内容で、おおいに盛り上がりました！

男の戦い
せえの！



女の戦い
きゃー！



私の肉
食べないでよ！



長いような短いような2日間が終わりました。心を合わせて作った「人間イス」、みんな看護師になってまた会おうね！みなさんも奨学生になって、来年はぜひ参加してくださいね！！（編集委員より）

ナースの休日



今回は、姫路共立病院
外来看護師 小山千代さん
の休日をご紹介します！

大学進学で離れて暮らす息子、娘と仲良く家族で台湾旅行に行きました。待ち合わせは関西空港！子供が搭乗時間までにきちんと来るのか心配で、姫路発の母はLINEでしつこいくらい連絡をとりあい、無事4人が空港で揃いました。ツアーなのですが10数年ぶりの海外旅行でウキウキ？ドキドキ？久しぶりの家族旅行でウキウキな母に学生の娘から「お金持ってきてないけど小遣いとかは、母か父が出してくれるんやね？」って聞かれ、当然母は、「お父さんが持ってるから大丈夫だよ。」って返事すると、夫が「えー！おまえが持ってきてると思ったので現金ないよ」と……。私と娘は「え〜！！！！」現金がほぼない家族旅行ってどうなの！！って変な汗をかき…結局キャッシュカードを持ち合わせていた娘の口座から現金拝借して出発！！



台湾到着後、観光地の淡水に……。現地添乗員さんのお勧めで、臭豆腐を口にしたらそこ独特な匂いが…。

到着当日の夕食はリッチそうなレストランで台湾料理のコース料理が出てくるのですが、厨房のスタッフに申し訳ないくらい残す結果となり、夜市に出かけても、活気ある様々な屋台からただよう匂いになじめず、おいしそうに食べている観光客や現地の人を眺めながら家族4人は買い物しか楽しめない寂しい台湾でした。でも、有名な『鼎泰豊』の小籠包はとってもおいしく連日『鼎泰豊』の小籠包の食事になりました。



ジブリ映画作品の一つにここがモデルになったと噂になり有名になった夜の仇分では、古い石の階段やぎっしりひしめき合い立ち並ぶ屋台や陳列されている饅頭、鶏肉料理の並ぶ景色などが「あ〜なんとなくジブリ感あるかな〜。」夜10時頃、繁華街の小さな公園で何人もの幼児達が遊具で普通に遊ぶ姿に「この子たちは何時に寝るんだろう？」・・・逆に正午の洋服店街はまるでゴーストタウンのように静かで、シャッターの閉じている店舗も多く人の声も少ない不思議な時空間。

暑い昼間は寝て過ごし、涼しくなる頃から活動する南国民族なのだたと勝手に想像し、納得しているうちに楽しい旅行はあっという間に終わりました。



旅も楽しいですが、子供達が大学進学で家を出てからの楽しみは年2から3回の家族の食事会です。子供達の都合上、大阪で会うことが多く、安くておいしいディープな大阪難波周辺で、かに道楽・串カツ屋・ホルモン屋などを楽しみ、その後は子ども達の付添いショッピングで小旅行気分を味わっています。ちなみに・・・旅行の数か月後、家族4人で大阪の『鼎泰豊』に行き小籠包をおいしく頂きました。



ほっと Station☆

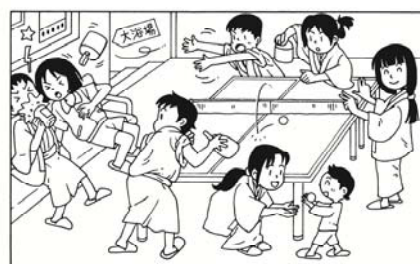
朝晩めっきり冷え込んで来ましたね。
秋の味覚と、彩りを楽しみながら頑張っていきましょう。



正解者から抽選で5名の方に図書カードをプレゼントします。(返信ハガキをご利用くださいね)

8・9月号クイズの答え

1. 廊下の足
2. 枕が当たった人のシャツの切れ込み
3. 一番左の子・シャツのネック
4. テーブルの奥の足
5. テレビのスタンド
6. 一番右の子・シャツの左袖
7. 右上のバッグの数



7つのマチガイ [問題]上の絵と下の絵では7つのマチガイがあります！どこでしょう？(作・野上和彦)



読者のつづやき

実習も後半へ突入!!

実習入る前は不安がいっぱいだったけれど、始めてみたら早いなと感じる。国試に向けて勉強頑張っていく!!

ペンネーム (micky)



明日からテスト!
絶対いい点とるぞ!

ペンネーム (まりん)

9月から毎日本当にいそしいです。知識も技術もまだまだなので頑張っていきたいです。毎日充実しています。

ペンネーム (ムギムギちゃん)





「看護学生の学費や奨学金に関するアンケート」報告書



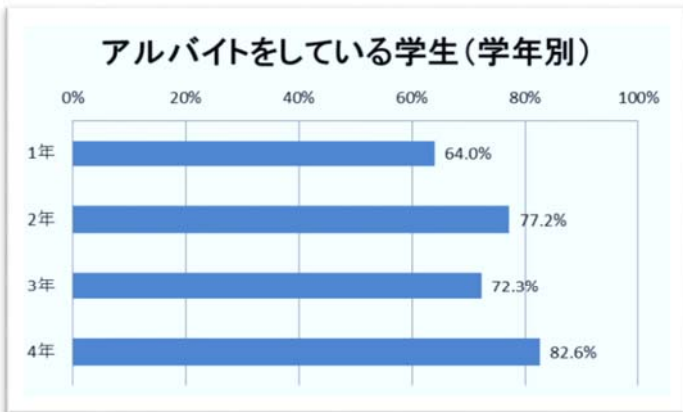
兵庫県の看護奨学金制度を考える会

看護学生のみなさん！アンケートへのご協力ありがとうございました。アンケート総数は256通となり、看護学生のみなさんの経済的な背景が、リアルにつかめる貴重なデータとなりました。紙面の都合上、すべての結果を掲載できませんが、前号の中間報告と併せてみてくださいね。

奨学金の制度種別	回答数	構成比	受給者中
日本学生支援機構	117	60.6%	70.5%
民間病院	55	28.5%	33.1%
学校	6	3.1%	3.6%
あしなが育英会	0	0.0%	0.0%
自治体	12	6.2%	7.2%
その他	3	1.6%	1.8%
合計	193	100.0%	
※二種以上受給	27		

日本学生支援機構の利用者が70%という結果に驚きました。また、経済的な支援は必要だけれど、卒業後の就職先や返済への不安からあえて奨学金を受けない選択をしていることがかわれる回答もあり、奨学金の潜在的な要求はもっと高いと考えられると感じました。

アルバイトは全体で72.4%がしており、奨学金受給者では74.1%となっています。アルバイト収入は月額4～6万円が最も回答が多く、奨学金の平均月額が7万超であることから、学生生活に必要な費用は、月額10～15万円程度必要である事も結果から掴む事ができました。



また、回答者の3割近くが社会人経験者であり、社会人経験者の看護学生が増加している事や奨学金の用途も学費や交通費について食費といった生活費に充てられている実態がわかりました。学校の選択理由では、「通学できるかどうか」が上位である点から、単身生活のコストを避けて自宅通学を選ぶ傾向があることが推察できます。自由記載からは、給付型や進路が限定されない奨学金、奨学金についてのわかりやすい情報提供を望む声が寄せられており、**「公立・民間問わず兵庫県の医療機関に卒後勤務するならば、返済を免除もしくは軽減する形での公的な修学支援制度が必要だ」**と結論付けることになりました。

学生の経済状況の厳しさは、もちろん看護学生に限った事ではありませんが、看護師不足の解消は、県民の健康を守る立場から検討してもらいたい課題です。皆さんの貴重な生の声を、是非！兵庫県への要望の貴重な情報として活用したいと思います。